

令和7年度 第4回都島区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応・補足	担当
1	<p>&lt;議題（1）まちづくりビジョン2040検討状況について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト面（つながり・コミュニティ）は見える一方で、まちの姿としてのハード面の将来像がやや見えにくいと感じた。バリアフリー化、公園や街路の緑化、景観整備、防災面では電線地中化など、都市環境整備の方向性があると市民が未来像を描きやすいと思う。</li> <li>・都島区として、都市環境整備の方向性をビジョン2040をどう結びつけるのか。</li> </ul>	白井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご指摘のとおり、今回お渡しした抜粋資料はハード面の書き込みが弱い部分があります。ビジョンにはハード面も書き込んでいきたいと考えています。</li> <li>・一方で区役所は、ハードを新たにつくり変えるといった権限には限りがあります。だからこそ「今ある公共空間をどう使うか」「これまで活用されていなかったものをどう活用するか」が重要です。</li> <li>・都島区、とくに北部には緑や水辺など豊かな資源があるので、そうした資源を区民の皆さんに活用してもらい、より豊かな暮らしにつなげる観点も、ハード面として書き込んでいきたいと考えています。</li> </ul>	(当日回答のとおり)	政策企画
2	<p>&lt;議題（1）まちづくりビジョン2040検討状況について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりビジョンには、多様性の観点が重要。高齢者、障がいのある方、外国人、子育て世代など、さまざまな人が暮らす前提で、ハードのユニバーサルデザインとソフトのユニバーサルマナーの両方を進めていくことが、必要だと思う。</li> <li>・ユニバーサルデザインやアクセシビリティについて、まちづくりビジョンの中でどのように位置づけるのか。</li> </ul>	白井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まさにおっしゃるとおりです。都島区には多様な方が暮らしており、今年度の取組でも高齢者、障がい者施設で働く方、障がいのあるお子様の保護者など、さまざまな立場からご意見をいただいています。</li> <li>・そうした声を踏まえ、皆さんにとって望ましいまちづくりとは何かという視点を忘れずに、進めていきたいと考えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の考え方は重要であると認識しています。まちづくりビジョン策定過程においても、地域別ワークショップやイベント時のアンケートなど多くの方から意見をいただきました。</li> </ul>	政策企画
3	<p>&lt;議題（1）まちづくりビジョン2040検討状況について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりとは、市民活動の積み重ねで形作られるものだと思う。</li> <li>・その前提であれば、区民が主体で、行政は方向性を示し支援・共創する、といった役割関係がもう少し見える形でもよいのではないか。区役所や区民センターがシティセンター的にどう機能し、区民がどう活用するのかも含めて描けると思う。</li> <li>・また、区民参加についても、活動したい人だけでなく、表立った活動に参加しない人、変化を望まない人もいます。取り残され感が出ない配慮が必要である。</li> <li>・区民参加を広げる情報発信やアウトリーチについて、どう考えているのか。</li> </ul>	白井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの主体は、あくまで区民の皆様だと考えています。ビジョンは将来像を示し、それを区民の方、地域団体、民間事業者が共有して取組を進めていくためのものです。</li> <li>・区役所は、その活動を応援したり、関係者同士をつなぐパイプ役になることが重要だと考えています。こうした役割分担も、分かりやすく明確にして、参加意識を高めてもらえる形でビジョンをつくりたいと考えています。</li> <li>・情報発信については、広報誌を全戸配布していますが、若い方は見られない方もおられます。そのため、SNS（LINE、Xなど）でも情報発信を進めています。</li> <li>・デジタルとアナログの両方で、できるだけ多くの方に情報が届くようにし、まちづくりの取組は経過も含めて継続的に発信していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度から、区内まちづくりプラットフォーム「みやこじまFanプール」の構築に向けた、検討、取組を進めていく予定です。</li> </ul>	政策企画
4	<p>&lt;区政会議の運営について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所が区政会議が始まる前に意見を収集して、回答を事前に区役所で考えていただく形を導入された方が議事進行もしやすいと思う。</li> <li>・今回、白井委員が意見書を作成された。それに対して、区役所側も真摯にご回答いただけたと思っているが、より実りある意見交換のために、事前に意見徴収する形の方が良いと思う。</li> </ul>	薮上委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にご質問を募るといった会議運営の手法については、今後検討させていただきたいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区政会議の運営につきまして、より円滑で実りある議事進行の観点から、事前に意見を収集し、区役所で回答を準備する手法の導入をご提案いただきありがとうございます。</li> <li>・区政会議の委員のみなさまに、事前送付している会議資料だけでは、内容が十分に伝わりにくい部分があったり、委員の皆さまに誤認が生じるおそれもあります。このため、都島区では、まず区政会議の場で区から説明を行い、その説明を踏まえてご意見をいただくことを基本としています。</li> <li>・また、会議の場で委員の皆さまが意見を交わすことで、他の意見や情報を受けてご自身の意見を整理し直したり、より深めたりされることもあると考えています。</li> <li>・以上の理由から、区政会議の開催前に一律に意見徴収を行い、事前に回答を準備する運用は現時点では予定しておりません。引き続き、区政会議の場において丁寧な説明と意見交換に努めてまいります。</li> </ul>	政策企画

令和7年度 第4回都島区区政会議での意見と対応一覧

	意見内容	委員名	当日の回答	今後の対応・補足	担当
5	<p>&lt;議題（2）都島区将来ビジョン2030について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来ビジョン2030のパブリックコメントの受付件数について「3通で延べ10件」とあるが、区役所としてこの数をどう捉えているのか。</li> <li>・また、本日の区政会議の傍聴者は5名だが、この人数は多いのか少ないのか。もっと多くの声や参加があつてよいのではないか。</li> <li>・区として現状の数を評価しにくい点は理解するが、より多くの意見提出や傍聴参加が望ましい。広報活動など、参加を増やすための区のさらなる努力を求める。</li> </ul>	雲井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントの件数の多寡の評価は、事業の目的や対象によって考え方が異なるため、今回は実績数値として示したものであり、区として「多かったから良い」「少なかったから良い」といった評価は行っておりません。</li> <li>・区政会議については、広報誌、ホームページ等で情報発信しており、できるだけ多くの人に関心をもって見ていただきたいと思います。</li> <li>・傍聴については、来庁して直接傍聴する方法のほか、インターネットによるライブ視聴も可能です。</li> <li>・今後もさまざまな手法を通じて、区政会議に関心を持っていただけるように努めてまいります。</li> </ul>	(当日回答のとおり)	政策企画